

Smart Slate TC-SL1

製品マニュアル

日本語

はじめに

Deity Smart Slate TC-SL1をお買い上げいただき、ありがとうございます。

使用方法

- 本製品の製品マニュアルをよくお読みください。
- この製品マニュアルは保管してください。製品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの製品マニュアルを添付してください。
- すべての警告に注意し、この製品マニュアルのすべての指示に従ってください。



警告：腐食から製品を保護するために、腐食性の化学物質がある場所に製品を置かないでください。腐食により、製品が故障する可能性があります。

- 本製品のお手入れには、マイクロファイバーと乾いた布のみを使用してください。
- 落下させたり、物理的な衝撃を与えたりして破損させないよう、慎重に操作してください。
- 製品に液体を近づけないでください。製品に液体が入ると、電子回路がショートしたり、機械が損傷したりする可能性があります。
- 製品は乾燥した清潔でほこりのない環境で保管してください。
- 製品に問題がある場合は、正規のサービスまたは代理店に製品の点検を依頼してください。有償で修理を依頼することは可能ですが、許可されていない分解による故障に起因する修理には、この保証は適用されませんのでご注意ください。
- 本製品はRoHS、CE、FCC、KC、日本MICの認証を取得しています。動作基準を遵守してください。製品の誤用に起因する修理は保証の対象外ですが、有償で修理を依頼することができます。
- このマニュアルの指示と情報は、徹底的に管理された企業のテスト手順に基づいています。設計や仕様が変わった場合、それ以降の通知は行われません。

FCC 準拠に関する記述

このデバイスは、FCC 規則 第15条に準拠しています。動作は次の2つの条件に従います。このデバイスは、有害な干渉を引き起こす可能性がないこと、および(2)このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる必要があります。

警告：コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

注意：本機器は、FCC規則第15条に基づくクラスBデジタル デバイスの制限に適合することが試験により確認されました。これらの制限は住宅での設置において、有害な干渉から合理的に保護するように設計されています。本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置、使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、それは装置のOffとOnによって決定することができ、ユーザーは、以下の手段の1つまたは複数によって干渉を修正することを試みるのが推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変えてください。
- 機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されている電源とは別の電源に機器を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ・テレビ技術者にご相談ください。

RF(周波数)警告文

このデバイスは、一般的な RF 曝露要件を満たすように評価されています。
このデバイスは、携帯型の露出条件で制限なく使用できます。

使用目的

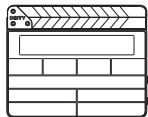
Deity Smart Slate TC-SL1の使用目的は以下の通りです。

- 使用者は、この製品マニュアルの説明を読んでいることになります。
- 使用者は、この製品マニュアルに記載されている動作条件および制限内で製品を使用します。
- 「不適切な使用」とは、この説明書に記載されている以外の方法で製品を使用すること、またはこの説明書に記載されている条件と異なる使用条件の下で製品を使用することを意味します。

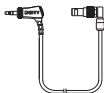
パッキングリスト

パッケージには以下のアイテムが含まれます。

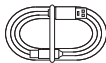
1. Smart Slate TC-SL1 (Global)



TC-SL1
(1)



3.5mmロック式
TRS-5P Timecode
ケーブル (1)



USB-C 充電ケーブル
(1)



消せるマーカー
(1)



USB-C to USB-A
ファームウェア アップデート
アダプター (1)

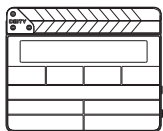


FB-NP-F550-DT
リチャージャブルバッテリー
(2)

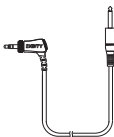


ソフトケース
(1)

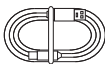
2. Smart Slate TC-SL1 (EU)



TC-SL1
(1 pc)



3.5mm Locking TRS to
6.35mm Timecode Cable (1 pc)



USB-C Charging Cable
(1 pc)



Erasable Marker
(1 pc)



USB-C to USB-A
Firmware Update
Adapter (1 pc)

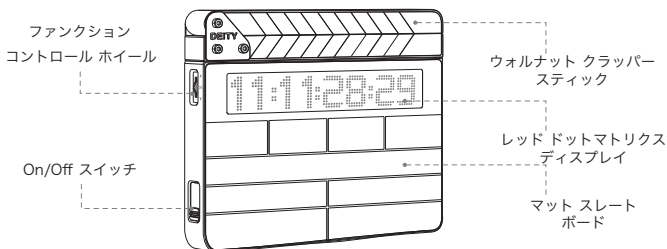


FB-NP-F550-DT
Rechargeable Battery (2 pcs)



Soft Case
(1 pc)

各部名称



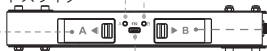
A パワー LED

A バッテリーコンパートメントスライダー

B パワー LED

B バッテリーコンパートメントスライダー

USB Type-C充電ポート



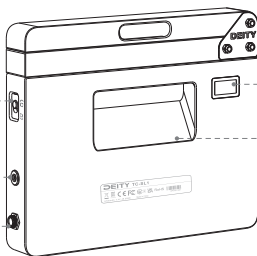
フロントスクリーン
フリップスイッチ

5P タイムコード入力/出力

6.35mm TRS タイムコード出力

リア有機ELスクリーン

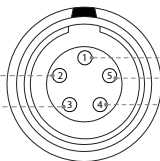
ハンドル



* 5ピンコネクター端子配列：

2=TC IN

3=No Signal



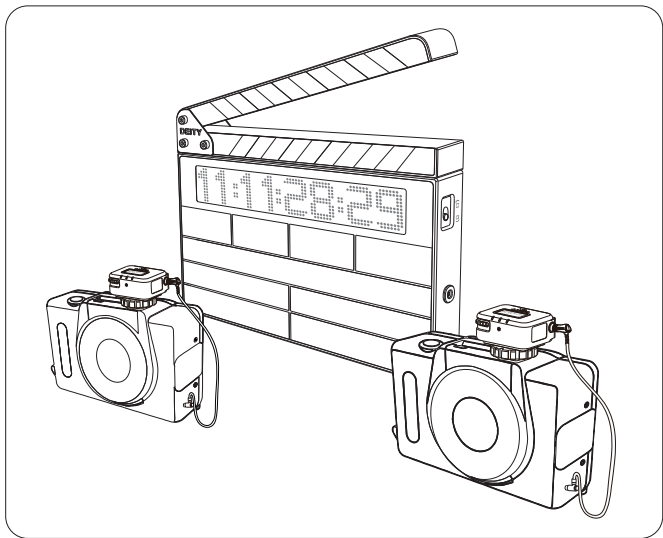
1=GND

5=TC OUT

4=No Signal

Deity Timecode Family

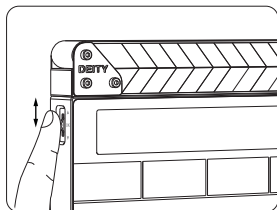
TC-1とTC-SL1は、高精度なDeityタイムコードシステムを形成しています。カメラやオーディオレコーダーを簡単かつ直感的に同期させることができ、撮影した素材の位置合わせをワンクリックで行うことができます。最も目を引くのはTC-SL1です。ミュージックビデオや劇映画の制作において、タイムコード・ワークフローを容易にするために使用されますが、バックアップ用のビジュアルリファレンスとしても機能します。このワークフローは、ポストプロダクションに関わるクリエイティブな作業に集中できるため、最も迅速で費用対効果の高い方法です。



機能と操作性

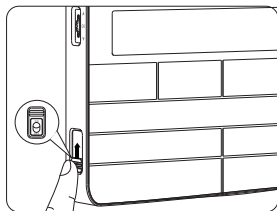
1. Function Control Wheel (ファンクション コントロール ホイール)

ホイールを前後に回転させて様々なオプションを選択し、ファンクション コントロール ホイールを短く押すと、選択したハイライトされた項目に入ることができます。ファンクション コントロール ホイールを長押しすると、前の画面またはメニュー項目に戻ることができます。



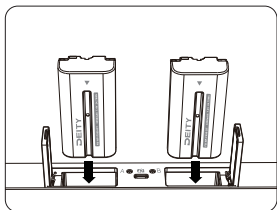
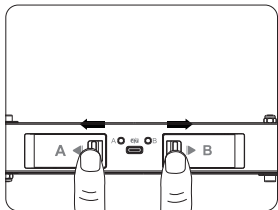
2. On/Off Switch (オン/オフ スイッチ)

スイッチカバーを上をスライドさせ、スイッチを上下に切り替えて、TC-SL1 をオン/オフします。



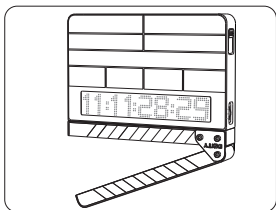
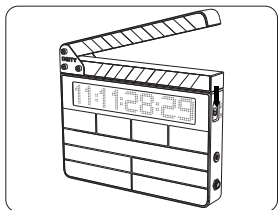
3. A/B Battery Compartment Slider (A/B バッテリー コンパートメント スライダー)

電池収納部のスライダーをロック解除すると、電池が外れる状態になります。電池を入れ、カバーを閉じ、下に押しして固定します。



4. フロントスクリーン・フリップスイッチ

フロントスクリーンのフリップスイッチを上切り替えると、ディスプレイが180°回転し、上下を逆さまにしてテールスレートができます。



5. 充電

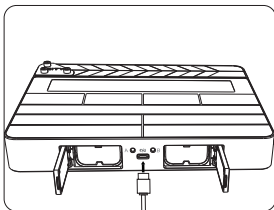
TC-SL1 は、デュアル NP-F バッテリー ベイを備えています。FB-NP-F550-DT 充電電池を2本搭載。TC-SL1 は、付属の NP-F550 充電電池2本をホットスワップすることで、スマートスレート本体の電源を落とすことなく使用できるように設計されています。

バッテリーは、付属の Type-C 充電ケーブルを使用して DC アダプター (別売り) に接続して充電します。

TC-SL1 は、PD3.0/QC2.0/FCP/AFC 急速充電プロトコルに対応しています。最速の充電を体験するには、15V 2A 出力の充電器を使用することをお勧めします。

- * バッテリー残量があるときは、電源LEDが緑色に光ります。
- * バッテリー残量が約20%以下になると赤色に変化します。
- * 充電中は、電源LEDが赤と緑の間で点滅します。
- * 満充電になると、電源LEDは緑色のままです。

10度以下の温度で充電すると、バッテリーの破損の原因になります。
長年の使用で性能が低下した場合は、バッテリーを交換することができます。



6. 有機ELディスプレイの概要



7. Lock(ロック)/Unlock(アンロック)設定

メイン インターフェイスのLock/Unlockオプションに入り、[LOCK]を選択すると、リア スクリーンがすぐにロックされます。リア スクリーンがロックされると、ボタンは機能しません。これにより操作中に設定が変更されるのを防ぐことができます。[AUTO]を選択すると、以前の画面ロック設定に従います。ファンクション コントロールホイールを短く押すことで、画面のロックを解除することができます。ロック解除ウィンドウがポップアップ表示されるので、[YES]を選択してリアスクリーンのロックを解除します。



クラブを表示

最後に閉じたスレートのタイムコード

8. TC-SL1 モード選択

ファンクション コントロールホイールを回してモードを選択し、短く押して目的の作業モードを選択します。三つのオプションがあります。

* 以下の 3 つの動作モードでは、タイムコードを他のデバイスに出力できません。システムの規定モードは [Master Run] です。

Master Run:

このモードでは、TC-SL1 は、Auto Jam モードまたは Jam Once And Lock モードのいずれかで、同じグループ内の他の TC-1 または TC-SL1 ユニットにタイムコードをワイヤレスで出力します。

また、3.5mm ケーブルを介してジャムシンクすることもできます。

Deity タイムコード ケーブルの使用をお勧めします。C13、C14、またはスペア パーツの 6.35mm TRS - 3.5mm TRS ケーブル。

Auto Jam:

このモードでは、TC-SL1が外部タイムコードソースからジャムシンクされるのを待ちます。

Jam Once And Lock:

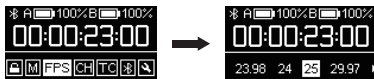
このモードでは、一度同期すると TC-SL1 がロックされます。モードが Jam1 から JMD に変わります。その後、TC-SL1はマスターTC-SL1からのコマンドに一切従わなくなります。Sidus Audio™ AppからTC-SL1のロック解除や制御を行うには、モードを変更する必要があります。



9. FPS 設定

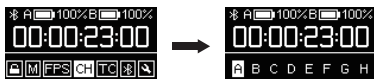
[FPS]を選択すると、タイムコードのフレームレートを次の通り設定できます。**[23.98, 24, 25, 29.97, 29.97DF, 30]**

[DF]はドロップ フレームを意味します。TC-SL1 が各レコーディング デバイスにタイムコードを供給できるように、事前に適切なフレーム レートを設定することをお勧めします。



10. チャンネル設定

手元にモバイル機器がない場合でも、チャンネル設定が同じであれば、ワイヤレスシンク技術でTC-SL1同士を同期させることができます。システムデフォルトのチャンネルはグループAです。



11. TC 設定

TC-SL1 の動作モードが「Master Run」に設定されている場合、TC 設定には 4 つのオプションがあります。

SYNC: タイムコードを他のデバイスにフィードします。

SET: 00:00:00:00 または任意のカスタム タイムコード開始点から開始するタイムコードを他のデバイスにフィードします。

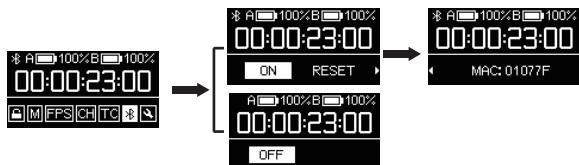
EXT: TC-SL1は、5Pタイムコード入力端子から外部タイムコードソースを検出し、ジャムシンクさせることができます。

OFFSET: ジェネレーターに対して TC-SL1 のフロント ディスプレイのみで、TC 出力を .1 刻みで最大 +/- 10 フレームシフトします。これにより、カメラに対する TC-SL1 のフレーム処理遅延の補正と、サードパーティ機器への TC オフセットが可能になります。



12. BT 設定

BTマークを選択すると、Bluetooth機能のオン/オフを切り替えることができます。初期状態ではBluetoothが有効になっています。[RESET]と[YES]を選択し、Bluetoothをリセットします。[SUCCESS]メッセージは、リセットが完了したことを示します。ファンクションコントロールホイールを回転し、TC-SL1のMACアドレスを表示します。



13. 一般設定

(1) 一般設定の「DID」オプションに入り、コントロールホイールを短く押すだけで、新しいデバイス名を設定することができます。TC-SL1に異なる名前を選択すると、Sidus Audio™ アプリのモニタリング画面で異なるTC-SL1ユニットを識別しやすくなります。



(2) 一般設定メニューの[BRIGHTNESS]オプションに入り、赤い格子スクリーンとスレートボード ステッカーのバックライトの明るさを任意のレベルまで設定します。[UP]を選択すると赤格子スクリーンの明るさを、[DOWN]を選択するとスレートボード ステッカーのバックライトの明るさレベルを変更できます。(システムのデフォルトでは、[UP]と[DOWN]はレベル3です)。DOWNは、0,1,2,3,4,5,6 の7種類から、UPは1,2,3,4,5,6 の6種類から選択できます。

初めて使用した後、TC-SL1 は前回の輝度レベル設定で起動します。



(3) 一般設定メニューの[REAR SCREEN]オプションに入り、ロック画面の時間を設定します (システム デフォルト15秒)。

Never,15秒,30秒,60秒 の4つのオプションがあります。

初回使用後、TC-SL1 は最後に設定した画面ロックで起動します。



(4) メニューから [SYS RESET]オプションに入ると、システムをリセットして初期設定に戻すことができます。



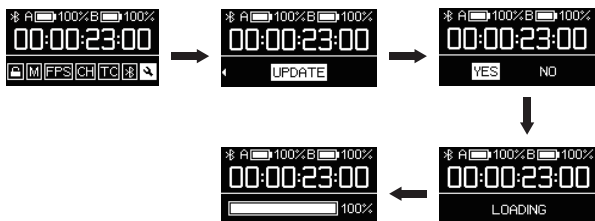
(5) [FIRMWARE]オプションに入ると、TC-SL1が動作しているFWのバージョンが表示されます。



(6) ファームウェア アップデート

Uディスク (Fat/Fat32 USB フラッシュドライブ など)を使用してファームウェアを更新することができます。当社Webサイトから最新のアップデートをダウンロードします。Uディスクのルートディレクトリにファームウェアを配置します。[USB-C to USB-A Firmware Update Adapter]を使用してUディスクを USB-C 入力ポートに接続、メニューから[UPDATE]オプションを選択し、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。ファームウェアの更新が完了すると、アップデートプロセスバーが100%になり、TC-SL1 が自動的に再起動します。ファームウェアのバージョンに更新が反映され、[General Settings] メニューの[FIRMWARE] に入り確認できます。

* TC-SL1 は、Sidus Audio™ OTAプロセスによるファームウェアのアップデートもサポートしています。



14. Sidus Audio™ App for iOS & Android のセットアップ

TC-SL1の機能を強化するためのSidus Audio™アプリをiOS App StoreまたはGoogle Play Storeからダウンロードすることができます。Deity Smart Slate TC-SL1をコントロールするアプリの使用方法に関する詳細は、<https://www.si-dus.link/support/helpcenter> をご覧ください。

* *Setup Sidus Audio™ App*は、BluetoothでTC-SL1デバイスと通信する必要があります。モバイルデバイスでBluetoothが有効になっていることを確認してください。また、アプリに必要な権限を付与する必要があります。Android版では、位置情報の許可も求められます。これは、TC-SL1からのBluetoothデータを受信するためにのみ必要です。本アプリは現在の位置情報を使用したり保存したりすることは一切ありません。



Get Sidus Audio™ App



[sidus.link/support/helpcenter](https://www.si-dus.link/support/helpcenter)

15. タイムコードの同期

TC-SL1は、高精度なタイムコードを生成する精密発振器を採用しています（約48時間あたり1フレーム以下）。また、TC-SL1をタイムコードソースとして使用することも可能です。プロダクション全体のフレーム精度を確保するために、すべてのレコーディング デバイスに TC-SL1 からのタイムコードをフィードすることをお勧めします。

*TC-SL1 の電源を切っても、タイムコードは 6 時間動き続けます。

(1) ケーブル シンク

付属の5Pタイムコードケーブル（ヨーロッパ版を除く）またはアダプターケーブルを使用して、TC-SL1を外部タイムコードに接続することができます。以下の手順で操作してください：TC-SL1のモードをAuto JamまたはJam Once And Lockに設定します。5Pタイムコードケーブルを接続すると、ジャムシンク時にTC-SL1が自動的に受信フレームレートとタイムコードを検出し、引き継ぎます。

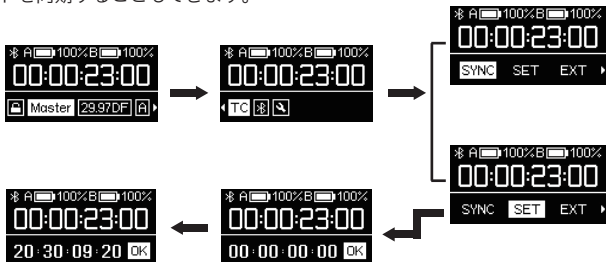


(2) ワイヤレス マスター シンク

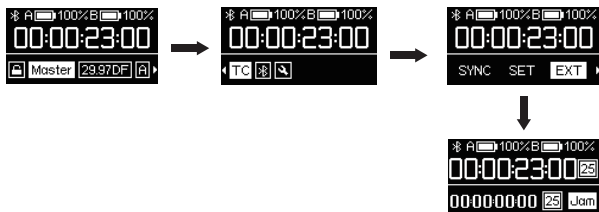
手元にモバイル デバイスがない場合は、ワイヤレス マスター シンクを介して TC-SL1 ユニット間または TC-1 を同期できます。

1台の TC-SL1 をマスター ラン モードで起動し、他のすべての TC-1 および TC-SL1 ユニットをオート ジャムまたはジャム ワンス アンド ロック モードで起動します。すべてのユニットを同じチャンネルに設定します（例：Aグループ）。マスターユニットの TC 設定を入力し、SYNC を選択しマスター TC-1 が実行しているタイムコードを使用してワイヤレスマスター同期を実行します。すべてのユニットは数秒以内に同期されます。

SET を選択して、00:00:00:00 またはカスタム開始点から開始するタイムコードを同期することもできます。



注: マスター ラン モードの間、TC-SL1 は、5Pケーブルを介して外部タイムコード ソースまたは他の TC-1によってジャム同期することもできます。TC-SL1 モードを[Master]マスター ラン モードに設定し、TC 設定から[EXT]オプションを選択すると、TC-SL1 は外部タイムコードとフレームレートを自動的に検出します。ファンクション コントロール ホイールを押して[Jam]を選択し、外部タイムコード ソースに同期します。

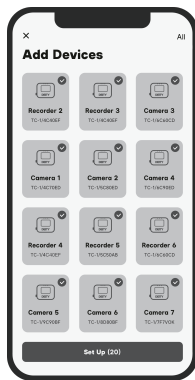
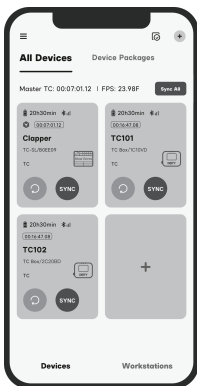


3) Sidus Audio™によるワイヤレスシンク

TC-SL1用のSidus Audio™アプリは、Bluetoothで多数のTC-SL1をワイヤレスで同期させることができます。Sidus Audio™を介して、TC-SL1の同期、モニター、セットアップ、ファームウェアのアップデート、基本パラメーターの変更が可能です。(20台以上でテスト済み)。これには、タイムコード、フレームレート、デバイス名、TOD (Time of Day) タイムコードなどの設定が含まれます。Sidus Audio™は、BluetoothでTC-SL1と通信します。モバイルデバイスとTC-SL1でBluetoothが有効になっていることを確認してください。ワイヤレスシンクを実行するには、モバイルデバイスでSidus Audio™を開き、すべてのTC-SL1ユニットをモニタリングリストに追加します。そのリストには、[Set]ボタンがあります。ワイヤレスシンクの前に、DID(Deity ID)を使用して、TC-SL1ユニットをよりよく識別するために個々のデバイス名を設定することをお勧めします。

Set Up をタップすると、[Sync All]オプションのあるウィンドウがポップアップ表示されます。これは、すべてのTC-SL1ユニットを『マスター』TC-SL1タイムコードまたはモバイルデバイスから取得したTODタイムコードに同期させます。

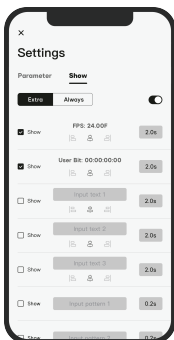
・各 TC-SL1 の SYNC をタップすると、この[マスター]TC-SL1 個体に同期します。



Sidus Audio™の詳細なユーザーマニュアルはこちらからダウンロードできます。
<https://m.sidus.link/support/sidusAudio/index>

16. Clap (クラップ) でExtras/Always Featuresを表示する。

Sidus Audio™ アプリを使用すると、クラップで表示されるスレートを定義できます。FPS、User Bit、Clapped TC、その他のカスタマイズされたテキストおよびプリセット画像に、0.2 ~ 5 秒を連続して適用します。



仕様

Smart Slate TC-SL1	
タイムコード	SMPTE
ワイヤレス方式	2.4G RF & Bluetooth
ディスプレイタイプ	0.96"有機ELディスプレイ
バッテリータイプ	FB-NP-F550-DTリチャージャブルバッテリー *2個
バッテリー容量	3350mAh *2
バッテリー充電器	USB-C急速充電 (15V 2A出力の充電器でフル充電3時間以内)
タイムコード精度	+/-0.5PPM
TC-SL1 正味重量	1130 g
TC-SL1 外形寸法	233*185*41mm
温度範囲	-20 °C ~ +45 °C

ヒント: マニュアルの図は、あくまでも参考図です (SV: 1.1 バージョンに適用)。製品の新しいバージョンが継続的に開発されているため、製品と製品マニュアルの図の間に違いがある場合は、製品自体を参照してください。



Smart Slate TC-SL1」の詳細な製品マニュアルは、www.deitymic.com でご覧いただけます。